

立命館生協 未来地図作成会

第143号



[キャリア形成支援]

取り組み概要

日時：3/10(木)、24(木)、30(水)、4/3(日)
場所：zoom
参加者数や組合員の反応：
合計247人の新入生が参加。
内、アンケートが134件集まった。

背景や概要：コロナ禍の影響もあり、新入生が大学に関する情報を十分に得られていない現状がある。入学後の大学生活に目標を見出し、同じように取り組む仲間を見つける目的で開催された。

入学前から大学生活のビジョンを

POINT.1

先輩の経験を基にこれからをイメージ



これから始まる大学生活の中で、どのように学んでいくかをイメージする、未来地図作成会が開催されていました。この企画の初めには先輩学生が座談会形式で自分の体験を語っていました。

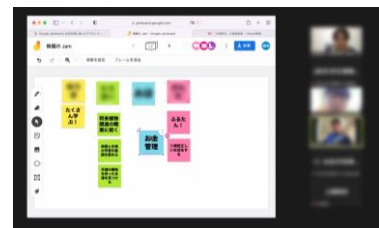
その座談会には、各キャンパスから1人ずつ学生委員の先輩が登場していました。逆留学の経験や学生委員会の経験など、その人それぞれの話を聞くことができる場となっていました。多くの先輩の経験からこれからの大学生活を想像できるようになっていました。

POINT.2

なりたい姿を考えてみる

座談会の後には、多様な先輩の経験から自分自身の大学生活を考える時間が設けられていました。先輩学生を含むグループに分かれ、新入生同士が交流しながら、どのような大学生活を送りたいかを可視化していました。

新入生が入学前から大学生活の目標を立て、同じ目標を持つ仲間の存在を感じながら行動を起こすきっかけとなるような時間でした。大学生協が未来の組合員のなりたい姿を把握することができます。



POINT.3

必要な学び事業の提案を



最後には分科会が設定されており、留学、資格、教職のパートが用意されていました。この時期に知っておきたい学びに関する話を選択して聞けるようになっていました。

分科会内では、実際に経験された先輩が動画やライブ形式で出演していました。その実体験を踏まえつつ、大学生協で利用できるサービスを新入生に伝えていました。新学期に新入生1人1人に合った学び事業の提案ができています。